

食品工場や家庭でできるゴキブリ対策

1. ゴキブリの数

今回は、食品工場や家庭でのゴキブリ対策についてお話します。ゴキブリに限らず、有害生物が生息する個体数は、「食べ物」、「水」、「隠れ家」の3つの要素で決まります。この要素を変えずに殺虫剤などの薬剤を使用して一時的にゴキブリの数を減らしても、薬剤の効果がなくなればまた環境に見あう数まで増えていきます。薬剤だけでゴキブリの数を減らすためには、薬剤を使い続けなければなりません。しかし、「食べ物」、「水」、「隠れ家」の3つの要素のどれか、またはすべてをゴキブリにとって理想的でない状態に変えてしまえば、生息できる個体数は減ります。この有害生物の個体数に影響を及ぼす要因に直接インパクトを与えるという考え方を、「IPM (Integrated Pest Management、総合的害虫管理)」とといいます。殺虫剤による駆除だけでなく、環境整備や予防策、物理的な制御方法などを組み合わせて総合的に管理することが重要です。



2. ゴキブリが好む環境

それでは、ゴキブリの好む環境はいったいどのような環境なのでしょうか。

- **温度と湿度:** ゴキブリは温暖で湿度の高い環境を好みます。特に 25～32 度程度の温度と高い湿度があると、活動が活発になります。湿度が 60%以上であることが好ましいです。
- **隠れ場所:** ゴキブリは暗くて狭い隙間を好みます。家庭や食品工場では、壁の裏側、家具の隙間、排水溝、電気機器の裏などに隠れることが多いです。
- **食料源:** ゴキブリは食料が豊富な場所を好みます。特に炭水化物、タンパク質、油脂などの食品残渣がある場所を好みます。食品工場では製造ラインの周辺や廃棄物の処理エリアが特にリスクが高い場所です。

- **安全な環境:** ゴキブリは安全な環境を求めます。外部からの危険が少なく、逃げ場が確保されている場所を好みます。

3. ゴキブリが避ける環境

次に、これから目指すべきゴキブリが嫌がる環境とはどのようなものでしょうか。

- **乾燥した場所:** 非常に乾燥した環境ではゴキブリは生存しにくいです。湿度が低下すると、彼らの活動が制限される傾向にあります。
- **清潔な環境:** 清潔に保たれた場所では、食料源や隠れ場所が少なくなるため、ゴキブリの侵入や生息が少なくなります。
- **寒冷的な環境:** 低温であることも、ゴキブリが避ける要因です。特に温度が10度以下になると、彼らの生存や活動は難しくなります。
- **物理的な障害:** ゴキブリは隙間や割れ目を好みますが、これらが封鎖されている場所は彼らにとって魅力的ではありません。

これらの環境を整備するためには、清掃や設備、構造物のメンテナンスなど総合的なアプローチが必要です。IPMは継続的なプロセスであり、ただ一時的に問題を解決するだけでなく、将来の問題を予防することを目指します。特に食品工場などの環境では、安全性と衛生基準を守りながら、効果的なゴキブリ対策を実施することが重要です。

4. ゴキブリ対策

ゴキブリが嫌がる環境を作るために、食品工場や家庭でできるゴキブリ対策には以下のようなものがあります。

食品工場のできるゴキブリ対策

- **衛生管理の徹底**
 1. 食品工場内の衛生状態を常に管理し、清潔を保つことが重要です。
 2. 定期的な清掃と消毒を行い、食品の残りカスやゴミを完全に取り除きます。
- **ゴキブリの侵入経路の遮断**
 1. ゴキブリが侵入する可能性のある経路（排水口、通気口など）を封鎖することで、侵入を防ぎます。
 2. ドアや窓、穴などの隙間を修理し、ゴキブリが入り込めないようにします。

- **罌や毒餌の使用**

1. 食品工場では化学的な防除剤の使用が制限される場合がありますが、許可されている場合にはゴキブリ用の罌や毒餌を設置し、定期的にチェックすることで駆除します。

- **従業員の教育**

1. 従業員に対して衛生管理の重要性やゴキブリの侵入を防ぐための基本的な対策を教育し、意識を高めることも重要です。

家庭でできるゴキブリ対策

- **食品の保管**

1. 食品を密閉された容器に保管し、ゴキブリが近づけないようにします。
2. 特に甘い匂いのする食品やオープンな袋入りの食品は、早めに密封してしまいます。

- **定期的な掃除**

1. 定期的にキッチンや食器棚を掃除し、食品のカスやこぼれた食ベカスをきれいに取り除きます。

- **出入口の管理**

1. ドアの下や窓の隙間などからゴキブリが侵入するのを防ぐため、隙間を埋めるなどの対策を取ります。

- **粘着板やゲル剤の使用**

1. 家庭用のゴキブリ用の粘着板やゲル剤などを使用して、ゴキブリを捕獲したり駆除することができます。ただし、ペットや小さな子供が触れない場所に設置することが大切です。

これらの対策を組み合わせることで、食品工場や家庭でのゴキブリ対策を効果的に行うことができます。

5. 参考文献

三島博文：有害生物防除マニュアル、鶏卵肉情報センター